

特別賞

海洋汚染を止めるためには

南山小学校 五年 谷川光之介

ぼくは、海洋汚染について調べました。調べてわかった事で海洋汚染に共通している事は、人間がやったという事です。

例えば、日本の代表的な公害病の水俣病は、千九百五十三年熊本県水俣湾と新潟県阿賀野川で発生しました。有機水銀中毒が病気の原因だということが後になってわかりました。工場から出た水銀をプランクトンが食べ、それを小さい魚が食べてそれを大きい魚が食べてその魚を人間が食べて食べた人は病気になるりました。これは明らかに人間がやった事だし、タンカーの座しように石油がもれるなど人間がやった事は、他の生物もきずつけています。それに生活は水も海を汚す原因です。日本では下水処理をしていますますが外国ではしていない国が多いです。だから下水処理はとても大切です。また工場のけむりは化学物質をふくんだ雲となり、雨は海にふりそそぎます。これも海を汚す原因となります。このような事に、またならないため自分にできる事があります。一つは、殺虫ざいや洗ざい、スプレーを川に流さない事です。スプレーなどの化学物質は川から海に流れ魚の体に入ります。その魚を鳥が食べます。こうして多くの生物に化学物質がちく積されてしまいます。だから、川に洗ざいなどをできるだけ流さないことが大切です。次に下水道管に油をながさないことです。油は固めたりして捨てます。下水に流された油は、処理できずに海に流されてしまうのです。三つ目は、二さん化炭素を減らす事です。二さん化炭素と水は関係ないように思いますが、工場や家庭から出た二さん化炭素は化学物質をふくんだ雲となり、雨が川や海に流れてしまします。二さん化炭素をへらすためには、エアコンを二十八度に設定したり車をあまり使わないなどの対さくがあります。ぼくは、化学物質を川に流さないや、二さん化炭素をへらす、油を下水道にながさないなどをやってみてどれも大変でした。下水に油を流さないのを注意したり二さん化炭素をへらしたりしました。これで海洋汚染を防げるのだとわかりました。ぼくは、海がどんどん汚れていてそれは人間がやった事だと分かりました。他の生物も死んでいます。だから自分たちができる事をやるのは大切だと考えました。海洋汚染を止められるのは人間だけです。だから、自分たちができる事をみんなにやってほしいし、自分もできる事をやり、海洋汚せんを止めたい。そして、新しい資料や情報。ニュースを見て自分ができることをふやしてそのニュースにも関心を持って実行していきたい。